

教育羅針盤 ◆ ペットの所有(飼育)について

(調査日 9/24 ~ 26 回答率 99.2%)

質問事項			① 自宅でペットを飼っているか?		② (飼っている場合)種類は何か?			
			飼っている	飼っていない	犬	猫	他(犬・猫以外の)のほ乳類※ハムスター・ウサギなど	※その他のペット
学年	在籍	回答						
1年	32	32	20	12	3	1	1	18
2年	40	40	17	23	2	3	1	11
3年	36	34	16	18	3	3	0	13
4年	47	47	23	24	4	2	1	17
5年	42	42	19	23	1	1	1	16
6年	45	45	20	25	7	3	0	13
特支	5	5	3	2	0	1	0	3
全校	247	245	118	127	20	14	4	90
回答数に対する割合 (%)			48.2	51.8	8.2	5.7	1.6	36.7
			※分母 118名(ペットを飼っている)					

大勢の子どもたちの心を捉えるにはいたっていないかもしれません。長期休業中等での管理に難しさが出るなど悩みがつかまといます。

特活事始め

◆ 学級活動について(6)

学級生活の充実と向上を願って、どの学年も充実した取り組みを行っています。単に楽しいことの計画をするのではなく、計画(話し合い)・実践等の一連の活動が、学級で大切にしている価値に関わりがあるのかという点を意識させていきます。言うなれば、みんなで練り上げた学級目標の達成に寄与する事項であるかという点が大切です。その意味で議題の選定には難しいものがあり、学級内における価値や子どもたちの必要感、みんなで意見交換ができる多様な方向性(意見・考え方)を含むものがよいだろうと捉えています。

そして、みんなで十分に意見交換をしながら最終的には1つに決着させ遂行する。このようなことを繰り返し経験をたくさん積ませることを大切にしています。例えば、先日(11/7)の研究発表会での4年1組学級会は「friendshipをもっと高めていくためには(なかよしアップ 集会の大縄を)『今のままのチームでやる』か『チームを変える』か」と、学級目標に直結する議題で話し合いました。

研究発表会(11/7)は大成功!本校の子どもたちが如何に素晴らしいかを証明できた。大変嬉しく思う。多くの参観者から絶賛頂き、この2年間の教職員の努力が結実した日でもあった。正直なところ当初は研究指定を受けるのは嫌だったが、このような子どもたちの成長の姿を見るとまさに教師冥利に尽きる。今の経田小は黄金期かもしれないと個人的に思っている。昨日も我が家の人気番組 BS「ポチたまペットの旅」を見ながら気持ちよく晩酌した。(土)

左のような事項を尋ねてみました。自宅で生き物を飼うということは命の大切さを理解し優しい心や情操を育むのに効果的と考えられています。たぶん多くの子どもたちはペットが欲しいのではないかと考えられますが、家庭事情等で飼えない子も多いようです。ですから、ペットの代表格である犬や猫も意外に少ない結果でした。

新潟県の五泉市立川東中学校では生徒のコミュニケーション能力や思いやりの心を育むためとして学校犬(黒のラブラドル犬)が飼われています。少し羨ましくもあります。また、NHKの番組で紹介されましたがアメリカではプリズン(刑務所)ドッグと呼んで服役者の更正に生かしています。一般的に生き物とのふれあいを通じた教育効果はよく伝えられるところです。

本校では僅かに亀を飼っており、各学級によってはメダカや金魚等も飼育していますが、もっと多様な動物を飼育したいのは山々ですが



◆ 創校記念式 11/6

一日早めて実施しました。今年で139周年を迎えました。長い伝統を誇ります。



◆ 寄せ植え体験(ひまわり・若竹) 11/1

コリから提供頂いた花セットで楽しい体験をしました。

◆ 強風のため集団下校(11/1)



強風時の雨具にご配慮下さい。傘を破損した子どもがいました。